

## 新年

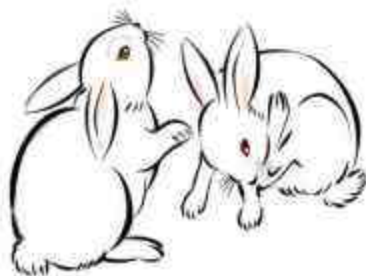
あけまして おめでとうございます

今年もどうぞ

よろしく申し上げます。

寺族一同、皆様のご多幸を

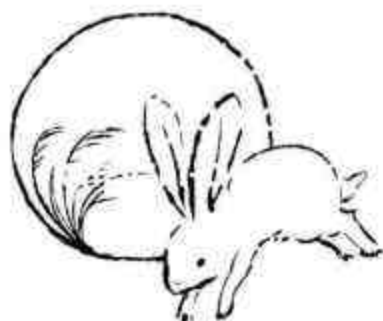
お祈り申し上げます。



今年はうさぎの年です。

うさぎというと、小学校で世話をした思い出もあるかもしれません。

ところで、「月のうさぎ」というお話をご存じですか？



昔、猿と狐と兎が仲良く暮らしていました。ある日、ふらふらで倒れそうな老人がやって来て、「何か食べ物を恵んでください」と言いました。

猿は急いで山へ行き、木の実や野菜を差し上げました。狐は急いで川へ行き、魚を差し上げました。ところが兎は何も差し上げるものを見つけられません。

ついに、兎は「どうぞ私を食べてください」と言って、たき火の中に飛び込んでしまいました。

たいていの方が、どこかで耳にしているこのお話。

このお話は、もともと「ジャータカ」という物語の中の一編です。

「ジャータカ」という物語は、お釈迦様の前世物語です。

お釈迦様はインドの王子としてこの世に生まれ、その生涯の中で「仏」となりましたが、実際にはそれまで何度も生まれ変わりを繰り返し、ある時は鳥獣魚虫として、またある時は天人として善行を積み重ね、その結果として ようやく人間界にて「仏」となられたのです。

つまり、人間界に生まれる前の 仏さまの善行を物語にしたものが「ジャータカ」なのです。

この有名な「月のうさぎ」も「ジャータカ」の物語では、うさぎは前世の仏さまであったとされています。

私たちは、前世での善行を背負い、また今人間界にて善行を積み、来世では、きっと仏さまのようになる日が来るのかもしれません。そう思って、今年一年 また日々励んでいきたいものです。

# 大智寺だより

平成 23 年 陸月

発行所

**大智寺**

岐阜市山県北野

668-1

電話:058-229-1532

Mail:

hybsr245@ybb.ne.jp

ホームページ

大智寺

検索

<http://www.geocities.jp/daititokai>

ies.jp/daititokai

今月の当紙発行には  
山口染色様のご協力を賜りました。  
ありがとうございました。

みんなで仏さまの悟りに近づけた！？

# 大智寺 大坐禅会

～参加して下さった方々、本当にありがとうございました～



前日の雨で足元が心配された大坐禅会ですが、12月4日（土）無事行われました。  
12月8日はお釈迦様が悟られ、私たちの信仰する仏教が生まれた日です。

「ぜひ、お釈迦様のお悟りの姿である『坐禅』をみんなでやろう！」  
「初めての方でも気楽に参加できる坐禅会をやってみよう！」

そんな気持ちで企画をした 手作り感満載の「大智寺 大坐禅会」

朝からせっせと本堂の新ストーブの火をおこし、様子を見る住職・・・  
前日の雨で、絨毯のように敷かれた庭の落ち葉を半日がかりで掃除する副住職・・・  
笑顔で手際よく境内中に牛乳パックの灯ろうを飾り付けてくれた 7人の岐阜女子大生  
本堂内は、多くの方の献灯により温かみある雰囲気となりました。

終了後のアンケートでは、ほぼ全員の方が「また来年も参加したい」と答えてくださいました。禅寺として、坐禅に興味のある方に「ホッと落ち着けるひと時」を感じていただけたなら、それにまさる喜びはありません。

～ また次回（今年12月）ぜひお出かけください ～

## 今年もやってきました、大般若会のご案内

《 1月15日(土) 10時～大般若会 ・ 13時～お焚き上げ 》

新年早々の、お寺の大事業です。

この日は、一年間の皆様のご多幸を大勢の和尚様が祈禱します  
祈願が終わると、毎年恒例の大般若祈禱札をお配りします。

ご祈禱会が終わると、ちょうどお昼になり、  
なぜかおいしい大智寺うどん展待(てんたい)が始まります。  
もちろんおかわり自由です。たくさん召し上がってください。



お食事が終わると、午後 13 時よりお焚き上げがあります。  
昨年一年間お世話になった お守りやお札、  
昨年身内の方が亡くなられた場合は 白木位牌、  
心の仕切り直しと供養をしたい場合は 思い出の写真や手紙、  
その他、子どもが小さい頃遊んだぬいぐるみやお人形、  
(火で燃えるものに限ります。大きいものは要相談)  
お焚き上げご希望の方は、お寺へご連絡ください。

### 広がる大智寺の輪

#### 〜 一期一会 その瞬間 〜

岐阜市少年自然の家 職員様

坐禅体験と昔話を満喫

12月16日、お寺からすぐ近くにある  
岐阜市少年自然の家の職員様方が、地  
域研修のため大智寺にて坐禅体験をさ  
れました。

30分ほどの坐禅でしたが、初めてと  
いう職員の方もおり、「この三輪地域な  
らでは」の新鮮な体験をしていただけ  
たようです。

寒い日でしたので、あたたかい裾履  
(はいたし)を飛礼にお出しし、残り  
の30分はゆづくりと住職の三輪北歴  
史話を楽しんでいただきました。

地域に根差した少年自然の家様と、  
土着のお寺がこうして互いの持ち味を  
尊重し、理解し合い、そしてできるこ  
となら、お互いに生かし合い、より良  
い地域づくりを励めたいと思います。

### 〜 シリーズ 北野のおばあちゃんの味 〜

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里2号のおばあちゃん 鄙(ひな)漬けの炊きもの

- ① 鄙(ひな)漬けを一昼夜水に付けておく。
- ② 水から上げて、2cm程に切って、湯で炊く。
- ③ 湯から上げて、油でちょっと炒めて、だし汁としょう油 みりんで炊く  
※ 禅寺では、「飯に漬物として調理されたものを、さらに調理する」と  
いう意味合いで、これを「ぜいたく煮」と言います。

「一年以上前に作った漬物やで、鄙(ひな)びた漬物 = 鄙(ひな)漬け  
これは米ヌカ(ぬか)の漬物やし、こっちは麩(こうじ)の漬物。  
大根を育てると、時々遊びにくる孫らが『大根引きたい!』って  
楽しんでくれるで、うれしいよ。」





### 大智寺の開運まめ玉

正月の修正会では、参加される方々が一斉に「大般若経」の転読を行い、今年一年の五穀豊穡や地域安全などを祈禱します。

祈禱後、参加者全員に配られる大智寺の開運まめ玉。

「まめ玉」それは豆なの？玉なの？

これは沖縄波照間の黒砂糖のあめ玉の中に、北海道のおいしい鶺鴒子豆が入ってる、香ばしい飴なんです。この時期だけの大智寺みやげ。おひとつ、いかがですか？



禅寺では正月に、達磨大師の軸を床の間に掛けます。これは、禅宗の初祖である達磨大師の教えに自分を照らし、心のゆがみを修正しようというものです。特に元旦・2・3日は修正会と名がつくように、昨年一年間にゆがみゆがんだ心を、もう一度修正し、初心に戻る特別な日なのです。

「ゆがむ」と言えば、大智寺にはゆがんで困ったものが2つあります。1つは70年以上のゆがみを背負った天然記念物の大ヒノキ、2つは扉を開けても閉めても敷居のゆがみで勝手に開いてしまう大玄関。ゆがみは時とともに大きくなります。

「体や骨盤のゆがみをマッサージュで元に戻しましょう」「なるべく言われると、すぐやりたくなるのに」、「心のゆがみを坐禅をして元に戻しましょう」と言われると、ピンとこない・・・

坐禅によって手足をすり減らした達磨大師のお姿は、「自分の心のゆがみ」に気づきにくい私たちにこんなメッセージを送っているのです。

正月、「自分の心を正しくする月」「心を引き締め、また一年頑張りたいものです。」

### 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

「・・・って言うことは、跡継ぎがないって事が条件なの？」  
大智寺の永代供養墓は、そうとも限りません。

「うちには息子がいるし、家が途絶えるわけではないけど、今のご時世で そんな大きなお墓が欲しいわけでもないのよねえ」  
大智寺の永代供養墓は、子供や孫が代々「〇〇家の墓」として使用できる「小さなお墓」というイメージです。  
(代々使用される場合に限り、大智寺の檀家となる必要があります)

完全個別永代供養墓  
1区画：25万円～  
(墓石代金含む)

#### 特色

- ◎宗教・宗派 不問
- ◎大智寺での供養内容  
月命日の供養  
春秋彼岸の供養
- ◎追加納骨 可能  
夫婦、家族でご利用可  
(追加料金 なし)